

## 地域のシンボル

参考資料は…

- ツシマヤマネコ保護増殖事業計画  
(平成7年7月 環境庁・農林水産省)
- NPO法人芥川倶楽部HP  
(<http://www.akutagawa-club.net/>)
- 兵庫県立コウノトリの郷公園HP  
(<http://www.stork.u-hyogo.ac.jp/>)
- 社団法人トンボと自然を考える会HP  
(<http://www.gakuyukan.com/index2.html>)
- 農村地域の保全資源活動全国レポート  
(<http://www.inakajin.or.jp/shigenhozen/top.html>)
- テキサスのコウモリ(ビデオ)  
(制作: 株式会社地域環境計画 ※販売中)

**ちいかん**は  
生きものと共生する地域づくりに関連する  
様々なニーズにお応えします。

### ◎生きものを調べる

- ・目的に応じた的確な調査計画立案
- ・植物、動物、水生生物、地象、景観等の現地調査
- ・環境アセスメント全般、モニタリング
- ・河川水辺の国勢調査

### ◎GISを中心とした情報技術

- ・生きもの情報、生態系、衛星画像等の解析
- ・データベース構築
- ・ソフトウェア販売

### ◎環境づくり

- ・生態系保全、復元、創出に係る調査・計画・設計・設計監理
- ・ミティゲーション、ピオトープ、エコロード、多自然川づくり

### ◎プロデュース・コンサルティング

- ・住民参加型調査の企画、運営
- ・環境学習、自然観察会の支援
- ・里山、ピオトープ等の管理・運営プログラムの作成
- ・パンフレット等出版物の企画・制作

詳しくは、お気軽にお問い合わせください。

## 株式会社 地域環境計画

生きものと共生する地域づくり **ちいかん**

- 東京本社 〒154-0015 東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル  
TEL:03-5450-3700 FAX:03-5450-3701
- 北海道支社 〒001-0017 北海道札幌市北区北17条西1丁目1-3 末永ビル  
TEL:011-717-8001 FAX:011-717-8021
- 東北支社 〒960-8061 福島県福島市五月町8-42 コア五月ビル  
TEL:024-528-9788 FAX:024-528-9789
- 名古屋支社 〒465-0048 愛知県名古屋市名東区藤見が丘56 グロリア藤見が丘30C  
TEL:052-760-2822 FAX:052-760-2823
- 大阪支社 〒569-1123 大阪府高槻市芥川町1-15-18 ミドリ芥川ビル  
TEL:072-684-3182 FAX:072-684-3184
- 九州支社 〒814-0006 福岡県福岡市早良区百道2-9-3 笠ビル  
TEL:092-833-5270 FAX:092-833-5271

URL [www.chiikan.co.jp](http://www.chiikan.co.jp)

建設コンサルタント(国土交通大臣登録建18第5694号)

掲載情報は2009年7月現在のものです。



今号のテーマは…

# 地域のシンボルを みつけよう!



\*この生きものの  
名前はなあに?  
答は次頁どうぞ。

# シンボル ってなに?

(シンボルを使うメリットは?)

地域づくりやイベント、自然保護などさまざまな局面において、**特定の生きものをシンボルとして活用することで「地域住民の理解(わかりやすさ)」が得やすく、目標とする自然への道すじがたてられます。**

\*その際、地域の生態系に留意することが大切です。

## どんな風にシンボル化するの?

- ・地域の「**良好な自然環境の象徴**」として
- ・鑑賞価値が高いなど「**観光資源**」として
- ・「**自然再生の目標**」として
- ・「**自然性が高い地域の象徴**」として

いろいろな観点からシンボルは選べます



赤字は観光資源としても利用されている生きものです。

### 当社事例 1 ツシマヤマネコ (長崎県 対馬市)



保護増殖と平行して、野生復帰のための「生息ポテンシャル把握」「生息環境向上に向けた地域づくり」が行われています。

観光資源  
地域づくり  
野生復帰



表紙に登場したのはボク。シンボルになることで、多くの人に認知されたよ。

### 当社事例 2 アユ (大阪府 高槻市)



アユをシンボルとして、魚の行き来できる環境づくりや水辺環境を復元するための様々な試みが官民協働で行われています。

自然再生  
地域づくり



イベント「みんなで作る市民の川」には、子どもたちもたくさん参加しました。

### 事例 3 コウノトリ (兵庫県 豊岡市)



コウノトリの保護増殖と同時に、地域の協力を得て餌場も含めた生息環境の復元を行い、段階的に野生復帰を行っています。さらに、施設の一部を観光客に一般公開し、普及啓発にも役立てられています。

自然再生  
観光資源  
地域づくり  
野生復帰

### 事例 4 カタクリ (北海道 旭川市)



旭川市が土地を購入し、国内最大規模のカタクリ大群落の里山保全活動が行われています。2009年4月「全国カタクリサミットin旭川」が開催されました。

観光資源  
地域づくり

### 事例 5 オオムラサキ (埼玉県 嵐山町)



自然を愛し、ふれあいを大切にしているため、オオムラサキを町民のシンボルとして生息場所である雑木林の保全活動が行われています。

観光資源  
地域づくり

▼ 例えばこんな時、「ちいかん」にご相談ください。

どうしたら最適なシンボルを選ぶの?

- 大事なのは、
- ・目的を決めること
  - ・地域の自然や生態系を把握すること
  - ・親しみやすく、地域らしいシンボルにすること

シンボルをどう活用するの?

- ・誰もが参加しやすい市民協働活動への展開
- ・学校教育、環境学習への活用
- ・地域づくり施策への反映
- ・広報への展開
- ・エコツアーの企画

「ちいかん」はシンボルの選定から活用まで、あらゆる場面でお手伝いいたします。